

第37回（平成25年）全日本少年サッカー大会姫路地区予選 大会要項

1 日時及び会場 平成25年

4月13日（土）	球技スポーツセンターメイン・多目他	4面 18試合
4月14日（日）	網干南グラウンド	2面 7試合
4月20日（土）	球技スポーツセンターメイン	1面 2試合
4月21日（日）	球技スポーツセンターメイン	2面 4試合
5月6日（日）	球技スポーツセンターメイン	2面 4試合

2 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体及びその団体に所属する選手で、20歳以上の指導者が試合に同行すること。
- 2) 選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。

3 競技規定

- 1) ルール 日本サッカー協会「8人制サッカールールと審判法」の「8人制サッカールール」に準ずる。
ただし、本要項に定められている事項が優先される。
- 2) 試合球 4号球とする。
- 3) 試合
 - ① トーナメント方式で、試合時間は20分－5分－20分とする。
 - ② 同点の場合で勝敗の決しない場合はPK方式（3人）で決定する。
但し、決勝戦は10分（5分×2）の延長を行い、なお決しない場合はPK方式で決定する。
 - ③ PK方式を用いる場合は、審判の指示に従って2分以内に限り、代表者1名が指示のためピッチに立入ることができるが、選手は外に出られない。
 - ④ 試合開始時に、選手8名が揃わない時は棄権とする。
 - ⑤ キックオフからの直接ゴールは認めない。
 - ⑥ 審判員は試合開始前に出場選手全員（交代要員含む）の用具（スパイク・レガース等）のチェックを行う。
 - ⑦ 審判員は複数参加のチームについては、登録人数以上ベンチに入れない事を確認する。
- 4) 審判員
 - ① 4人審判制とする。
主審1名と副審2名、補助審判1名が指名される。
補助審判については、交代時にライン付近で交代の確認をお願いします。
- 5) 選手交代
 - ① 「自由な交代」を採用し、交代して退いた競技者が交代要員となって再び出場できるものとする。
 - ② ベンチ側のタッチライン側中央に交代ゾーン（ハーフラインを挟んで両サイドに3m）を設ける。
 - ③ 競技者が交代要員と交代する場合、次の通り行う。
・交代が行われることについて、事前に主審に通知する必要はない。
・交代は、インプレーまたはアウトオブプレー中に、交代ゾーンにて行われる。ただし、交代で競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからでもフィールドを離れてもよい。
 - ④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- 6) 反則退場
 - ① 1試合で1回の警告は、以降の試合には累積しない。
 - ② 試合中退場処分を受けた選手は、本大会の次試合の出場を停止する。
 - ③ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- 7) ユニフォーム
 - ① 靴のポイントは交換式を認めない。
 - ② ユニフォームは、GKを含め出場選手色違いをできるだけ2セット用意すること。もし用意できない場合はビブスでも可とする。またGKは識別できればビブスのみでも可能とする。
- 8) 給水タイム 大会当日の天候状況により、大会本部にて判断して前後半の各中間時に主審の指示で約1分間の給水を取ることができる。
- 9) ベンチ ベンチには選手と指導者2名以外は入れない。またピッチと観覧席が分離された会場ではピッチにも適用する。
- 10) 雨天時 雨天決行。但し、午前7時現在で警報が発令されている場合は、延期とする。その時は、連絡網で団の代表者に連絡します。

4 規律フェアプレー

大会参加選手及び指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に望むこと。

- 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対しても紳士の態度で望むこと。
- 2) 応援者（含、保護者）は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

5 その他

- 1) 優勝、準優勝チームは、兵庫県大会の参加資格を与える。但し、フェアプレーの精神から姫路代表として、ルール上の完全な違反行為があった場合はこの限りでない。
- 2) 負傷した時の処置は、当該チームが責任を持って行うこと。